

## E 誓願寺



■ 誓願寺



## F 摂河国境

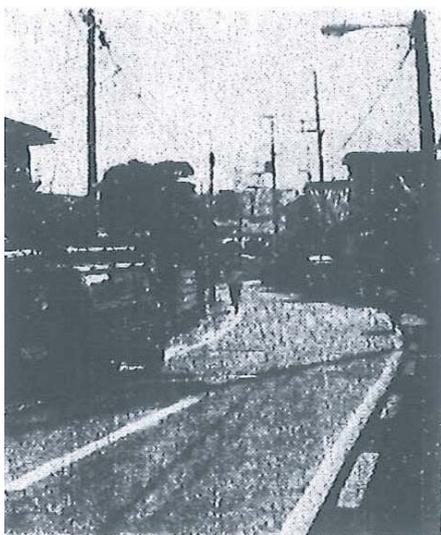


■ 摂河国境

このような状況の中で一つの手掛かりとして整理したものが「般若寺周辺の土地利用」(昭和20年(1945)頃)である。当時の地名を地図上にいちづけ、それらの土地が人々にどのように利用されていたかを理解しようと試みた。これがすぐに般若寺跡につながらないが、少なくとも今から数十年前の村の様子である。そして現在の写真を添えた。

2008.11.6 福田輝雄

## 剣街道関連記事



■ 旭区史掲載の写真 剣街道  
(新森7丁目)

### 「剣街道」(関連資料)

『旭区史』 編集 大阪都市協会 昭和58年3月31日発行

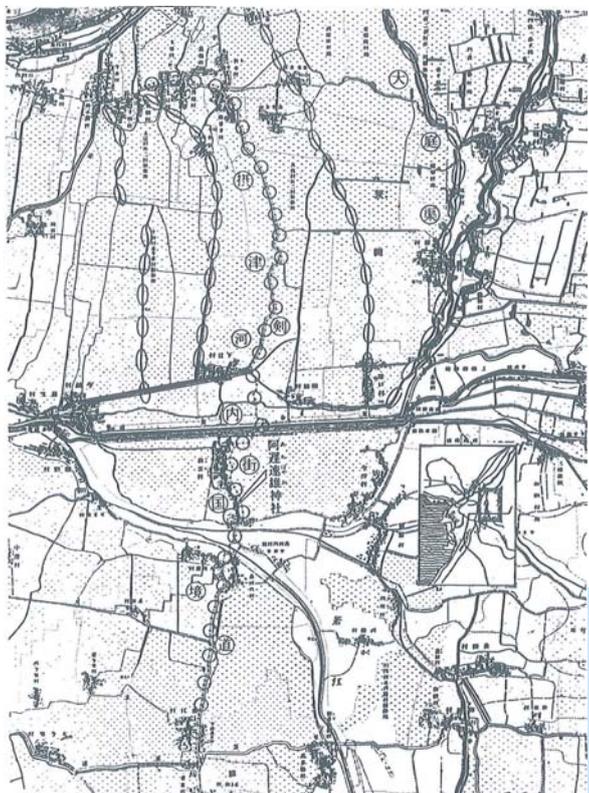
この資料によると「剣街道は、別所町から下之辻、放出を経て阿遅速雄神社へ至る道路幅一間半(2.7m)の街道で、別名縄手街道とも言われていた。剣街道となった由来は、その昔、河内佐太の来迎寺の開祖・誠阿上人が深江ムラの僧や信徒に剣をもって追いかけられ、清水の八幡社へ逃げ込んだという伝説から名付けられたという」



■ 現在の写真 (2008.11.15 撮影)  
(新森7丁目)

### 街道沿いに発展

一方、大阪から京都へ通じる京街道をはじめ、野崎街道、杉山街道、剣街道などの各街道が旧旭区を通っており、その街道沿いに集落ができ、街へ発展していった。



『大阪平野のおいたち』 発行1986年12月1日

著者: 梶山彦太郎・市原実(出版: 青木書店)

この書籍の中に「図IX-5 河内湖奥、旧汀線推定資料図 (汀線: 陸地と水面のさかい) 陸地測量部、明治18年仮製版図による」が掲載されており、この資料に「剣街道」と「摂津河内国境」の位置が示されている。

■ 図IX-5 河内湖奥、  
旧汀線推定資料図 (陸地測量部、明治18年仮製版図による)

(出典: 「大阪平野のおいたち」  
著者: 梶山彦太郎・市原実/出版: 青木書店)

## 清水・新森フィールドワーク

平成20年10月7日のワークショップでは、清水・新森地域を実際に見て歩きながらテーマを発見するフィールドワークを行いました。新森中央公園に集合し、森小路遺跡を見た後、新森と清水にある歴史的なポイントを、ワークショップ参加者の案内のもと、約2時間をかけて見て歩きました。

